

株式会社 小山本家酒造

環境活動について

平成 32 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I類	A事業所のみを有する特定事業者
II類	B事業所を有する特定事業者(III類の事業者を除く)
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 小山本家酒造	
所在地	さいたま市西区大字指扇1798番地	
事業者番号	0089	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	1,895	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	食料品製造業	
分類番号 (中分類)	09	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	清酒製造販売。従業員数120名。資本金3775万円。	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
B、C事業所			
C	008901	株式会社 小山本家酒造 本社工場	1,895
合計			1,895

(4) 公表方法

<input type="radio"/>	インターネット利用による公表	アドレス	http://www.koyamahonnke.co.jp/
	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	株小山本家酒造 商品開発室	048-623-5400	048-623-1315	
2				
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

◎スローガン 「未来へつなぐ第一歩」

1. 温暖化対策の推進(省エネ、省資源)における基本方針

全従業員の環境に対する意識を高め、会社として取り組むべき重要課題として、資源・エネルギーの削減活動を位置付けます。

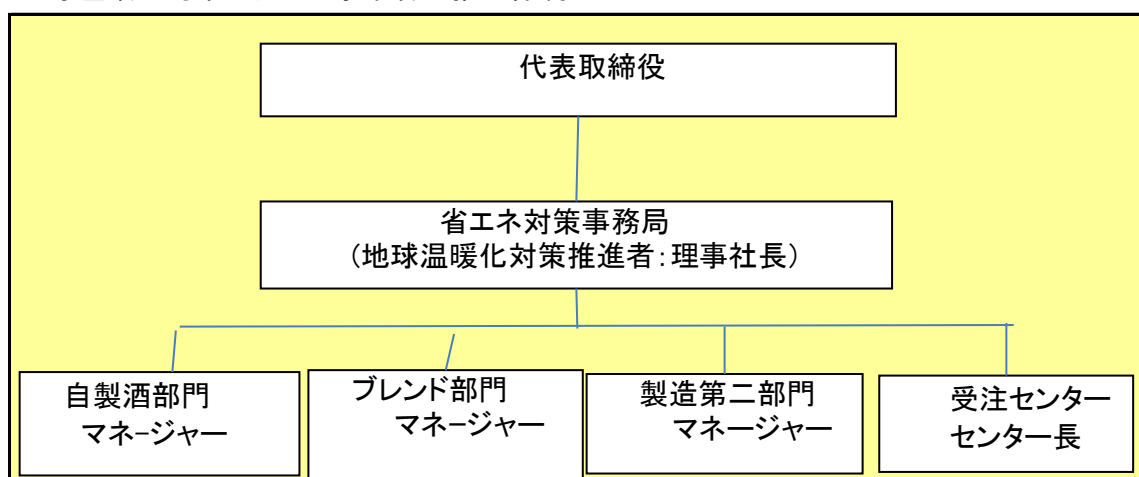
2. 推進内容

①社内に温暖化対策プロジェクトチームを設置し、目標達成の為に組織体制を確立する。

②各部署のプロジェクトメンバーを軸として、社員全員の環境に対する意識を高める。

③社内の改善提案制度を有効利用し、「省エネ、省資源」に繋がる提案が多く出される社風づくりを行います。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO ₂	3,652	3,544	3,535	4,125	3,700
その他ガス					
温室効果ガスの合計	3,652	3,544	3,535	4,125	3,700

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

地球温暖化対策推進者詳細

現在選任している地球温暖化対策推進者の連絡先詳細を記入すること。

推進者 連絡先	推進者所属部署	
	推進者職名	取締役社長
	氏名	小田島 聡
	電話番号	048-623-5400
推進者 連絡先 (複数選任し ている場合)	推進者所属部署	
	推進者職名	
	氏名	
	電話番号	

※事業者全体を管理する者として、複数の地球温暖化対策推進者を選任している場合は、任意に作成した様式により提出してください。

計画書作成担当者連絡先詳細

地球温暖化対策計画書の作成担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者が所属する事業者名称	株式会社 小山本家酒造
	所在地	さいたま市西区大字指扇1798番地
	担当者所属部署	製造
	担当者職名	製造第一 チーフマネージャー
	氏名	岡田 誠
	電話番号	048-623-5400
	FAX番号	048-626-1512
	E-mailアドレス	m_okada@sekaitaka.com

文書等送付・連絡先詳細

事業者あて公文書の送付・連絡先担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	送付・連絡先事業者名称	株式会社 小山本家酒造
	所在地	さいたま市西区大字指扇1798番地
	担当者所属部署	製造
	担当者職名	製造第一 チーフマネージャー
	氏名	岡田 誠
	電話番号	048-623-5400
	FAX番号	048-626-1512
	E-mailアドレス	m_okada@sekaitaka.com

※計画書作成担当者連絡先詳細の記載内容が転記されるので、必要に応じて修正。

平成 32 年度

事業者番号	0089	事業所番号	008901
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	株式会社 小山本家酒造 本社工場		
事業所所在地	市区町村	さいたま市西区	
	字・地番	大字指扇1798番地	
産業分類名(中分類)	食料品製造業		
分類番号(中分類)	09		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	清酒の製造・販売。従業員数120名。	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を13%以上にする。必要に応じて排出量取引を活用する。				
	その他ガス					
削減目標の概要	エネルギー起源CO ₂ の削減	排出可能上限量 (計画期間合計)	19,035	t-CO ₂	事業所区分 第2区分	
	目標の概要	削減目標量 (計画期間合計)	2,845	t-CO ₂		

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。必要に応じて排出量取引を活用する。				
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	1,872	1,817	1,813	2,112	1,895

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		3,652	3,544	3,535	4,125	3,700
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		3,652	3,544	3,535	4,125	3,700

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				1,799.0148	1,808.1633	1,758.7065	2,072.8643	1,840.7960
活動規模の指標	○	生産量	万KL/年	2.03	1.96	2.01	1.99	2.01

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	4,376	t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	4,376	4,376	4,376	4,376	4,376	21,880	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							19,035
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							2,845
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	3,652	3,544	3,535	4,125	3,700	18,556	
	排出削減量 (F = A - E)	724	832	841	251	676	3,324	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

<ul style="list-style-type: none"> 社内省エネ運動強化(エアコン設定温度・照明の節電 等) 照明LEDに変更(倉庫や通路など) 未使用チラーのフロン回収実施とフロン抑制法による漏洩チェック実施。 排水ブロアーの台数制御実施。 などを行い減少した。
--

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブローワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ブローワーの使用台数を制限する。使用量が少ない時期は優先的に制御していく。	H26以前	
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明設備を敷地内すべてLEDに変更する。	H32以降	
3	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	余剰温水回収システムを一部構築。	H26以前	
4	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	工場内の電力監視システム導入。	H26以前	
5	360700	ポンプ、ファン、ブローワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	インバーター導入によるブローワー回数制御。(継続中)	H26以前	
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷凍機の温度設定の方法変更(継続中)	H26以前	
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	熱交換器(凝縮促進部)の増設による冷却性能アップ。	H26以前	
8	360700	ポンプ、ファン、ブローワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	原料輸送方法の変更によるブローワー削減。	H27年度	
9	360700	ポンプ、ファン、ブローワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	生産設備(ポンプ、コンプレッサー)を省エネタイプへ更新する。	H27年度	
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	建屋の一部を昼光を取り入れて照明電力を削減	H27年度	
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	原料受入れ工場から製造工場の照明を省エネタイプへ変更する。	H28年度	
12	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	詰め口工場の屋根に散水設備を設ける。	H28年度	
13	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	古い機械を新型機へ更新する。	H28年度	
14	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	古い機器の更新して電気の損失を防ぐ。	H29年度	
15	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	古い変圧器の更新。順次トッランナー変圧器へ更新して、機械性能アップ。	H29年度	

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text input, occupying most of the page's content space.



埼玉県目標設定型排出量取引制度
CO₂削減目標達成証

(第1削減計画期間)

株式会社小山本家酒造
(008901 本社工場)

貴事業所は本県の「目標設定型排出量取引制度」のもとCO₂の排出削減に努められ第1削減計画期間の目標を達成されましたのでここに証します

平成29年10月12日

埼玉県知事 上田清司

